

大腸がん術後連携手帳



埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科

連携施設名 _____



連携手帳とは・・・

この手帳は、手術を施行した病院とかかりつけ医が協力し、専門的な医療と総合的な診療をバランスよく提供する共同診療体制を構築することを目的に作成されました。内容は、①共同診療に必要な診療情報、②5年間の診療予定表、③5年分の診療記録、④病気に関する説明、の4つに分かれています。診療記録のところには患者さん自身に記入してもらう欄が設けてあります。

この連携手帳を使用することで、患者さんは今後の診療予定を知ることが出来ますし、診療情報が共有されますので安心してこれまで通りかかりつけ医の診療を受けることが出来ます。通院時間や待ち時間が短縮し、通院の負担が軽減します。

また、他の医療機関を受診する場合でも、お薬手帳と一緒に連携手帳を持参すれば、治療内容が正確に伝わり診療に役立ちます。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、手術を行った病院へは節目に受診していただきます。何か心配なことがある時には、まずかかりつけ医にご相談ください。適宜必要に応じて手術病院を受診していただきます。また緊急を要する場合で休日や夜間等がかかりつけ医受診出来ない場合は、手術した病院までご連絡ください。

患者さん情報

お名前： _____ 様

生年月日：大・昭・平 _____ 年 _____ 月 _____ 日

身長 _____ cm 体重 _____ kg

手術病院：埼玉医科大学総合医療センター

☎：049-228-3618 (消化管・一般外科外来)

担当医 _____ 先生

ID：

手術日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

手術日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

手術日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

かかりつけ医療機関（1） _____ 病院

医師名： _____ 先生

☎： _____ 番

かかりつけ医療機関（2） _____ 病院

医師名： _____ 先生

☎： _____ 番

かかりつけ薬局 _____ 薬局

☎： _____ 番

既往歴： _____.

_____.

_____.

○治療中の病気：高血圧・糖尿病などの有無

_____.

_____.

○アレルギーの有無（薬・食べ物等）

_____.

_____.

○内服薬（お薬手帳があるときは記入不要）

_____.

_____.

_____.

_____.

_____.

手術

大腸癌の占居部位： _____.

術式名： _____ 切除

手術日： 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

病期： 第 _____ 期（取扱い規約第7版）

術前CEA値 _____ ng/mL（基準値 _____ 以下）

術前CA19-9値 _____ ng/mL（基準値 _____ 以下）

術前p53値 _____ ng/mL（基準値 _____ 以下）

あなたの今後の治療方針は？

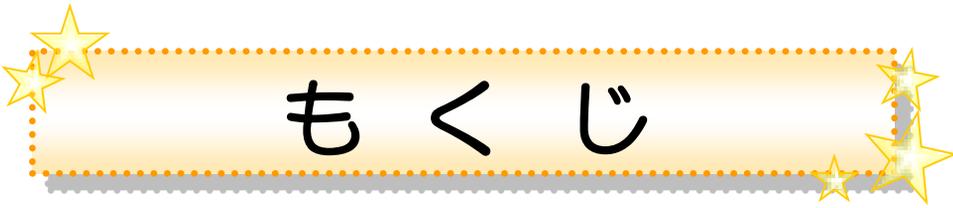
- 0期：経過観察は不要です。検診を受けてください。
- 1期：定期観察を受けてください
- 2期：定期観察を受けてください。
術後補助化学療法を受ける場合もあります。
- 3期：定期観察を受けてください。
一般的には術後補助化学療法が必要です。
- 4期：定期観察を受けてください。
術後補助化学療法が必要な場合もあります。

定期観察については別表の予定で検査を行います。
主治医の先生と相談してください。

その他の特記事項

 術前大腸内視鏡で腫瘍口側の検索
(有・無)

その他特記事項：



もくじ

🔔 退院後の日常生活 : p.7

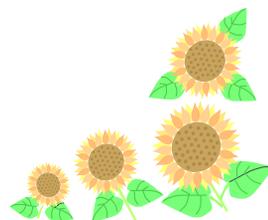
🔔 退院後の食生活 : p.8

🔔 退院後もこれだけは忘れずに :
p.9 ~ p.10

🔔 大腸がん術後連携パス :
p.10 ~ p.30

🔔 メモ : p.31 ~ p.32

🔔 総合医療センターの各部署・担当等のご案内 : p.33 ~ p.34





退院後の日常生活



手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下、それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし、多くの場合、手術後1~2ヶ月でやや軟便の状態となることが多いですが、ときに便秘気味になる場合があります。

一方、直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、排便の回数が増加したり、1回の便量が減少したり、残便感などの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の膨満を感じたり、あるいはひどくなると腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合、食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、手術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。



社会復帰に向けて

社会復帰が可能となる時期は、年齢や体力、社会的状況、仕事内容、手術術式などにより異なりますので、個々の状況に応じて対応すべきです。ひとつの目安としては、退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば手術後1ヶ月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば手術後2~3ヶ月くらいを目処に社会復帰が可能と考えます。

退院後の食生活

🔔 食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、手術後3ヶ月は控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。次のことに留意して、規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。また、ほどほどならアルコールを飲むことも可能です。



🔔 注意した方がよいおなかの症状について

便秘に対しては、水分や食物繊維を多くとり、生活のリズムを整え、適度な運動を行い、規則正しい食事と排便の習慣をつけましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、かかりつけ医に相談しましょう。

下痢の場合は、消化の良い食品をとり、水分を制限せずに、むしろ補いましょう。少量ずつの食事を、回数を増やすことで、消化管の負担を軽くしましょう。

頻便の場合は、生活のリズムを整え、食事時間を規則正しくしましょう。過労は禁物です。

腹部膨満感に対しては、1回の食事量を控えるように心がけましょう。それでも治らなければ、一度、食事をやめましょう。食事をやめても腹部膨満が続く、ガスが出ない場合は腸閉塞が疑われます。かかりつけ医にすぐに相談しましょう。



退院後もこれだけは忘れずに！

🔔 定期的な診察や検査に行きましょう

手術後5年を目処に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は大腸がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。



定期的な診察
や検査を

🔔 術後補助化学療法について

手術によりがんを切除できた場合でも、リンパ節転移があった場合に、再発率が高くなることが知られています。このような場合、手術を行った後に化学療法を行うことで、再発を予防するあるいは再発までの期間を延長できることがわかっています。このような治療を、術後補助化学療法といいます。一般には、術後補助化学療法の対象はリンパ節転移があるステージⅢ期の患者さんに対して、半年から1年程度の期間で、飲み薬の抗がん剤を服用することが多いです。





指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や化学療法剤で、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用してください。

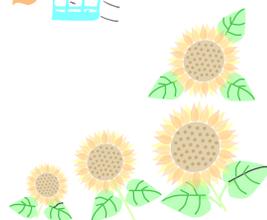
副作用がある場合には、医師に申し出てください。



悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、ご家族とともに医師や看護師とのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく、希望を持って前進し、病気をしてかえって良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。



大腸がん術後連携手帳(1～6ヶ月)

○: 必須項目 △: 必要時に行います ▲: 補助化学療法施行時に実施

			かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
			1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月
			毎月受診	毎月受診	月 日
(術後)					
診察	問診	食欲			
		腹部症状			
排便		○	○	○	
視触診	腹部理学所見	一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		▲	▲	○
	CEA・CA19-9・p53				○
検査	胸部レントゲン検査				△
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				△
	腹部・骨盤部CT検査				△
投薬	大腸内視鏡検査				△
	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬 (薬の名前)		▲	▲	▲
自己検診	腹部のチェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		1日排便回数			
		便通の異常はないか			
	抗がん剤の副作用のチェック	吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
口内炎はないか					



気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月
毎月受診	毎月受診	月 日
○	○	○
		○
▲	▲	○
		○
		△
		△
		△
		△
△	△	△
▲	▲	▲

～メモ～

*あなたが手術を受けた日

平成 年 月 日

大腸がん術後連携手帳(7ヶ月～1年)

○: 必須項目 △: 必要時に実施 ▲: 補助化学療法施行時に実施



			かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
			7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月
			毎月受診	毎月受診	月 日
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
排便					
視触診	腹部理学所見	一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		▲	▲	○
	CEA・CA19-9・p53				○
検査	胸部レントゲン検査				△
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				△
	腹部・骨盤部CT検査				△
投薬	大腸内視鏡検査				
	一般薬 補助化学療法薬 (薬名前)		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		1日排便回数			
	抗がん剤の 副作用の チェック	便通の異常はないか			
		吐き気・嘔吐はないか			
		全身倦怠感はないか			
	口内炎はないか				



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
10ヶ月	11ヶ月	1年
毎月受診	毎月受診	月 日
○	○	○
		○
▲	▲	○
		○
		△
		○
		△
		○
		○
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後連携手帳(1年1～6ヶ月)

○: 必須項目 △: 必要時に実施



			かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
(術後)			1年1ヶ月	1年2ヶ月	1年3ヶ月
			毎月受診	毎月受診	月 日
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
		排便			
	視触診	腹部理学所見			
		一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9・p53				○
検査	胸部レントゲン検査				△
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				△
	腹部・骨盤部CT検査				△
	大腸内視鏡検査				
投薬	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		1日排便回数			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
1年4ヶ月	1年5ヶ月	1年6ヶ月
毎月受診	毎月受診	月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		△
		△
		△
		△
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後連携手帳(1年7ヶ月～2年)

○: 必須項目 △: 必要時に実施

			かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
			1年7ヶ月	1年8ヶ月	1年9ヶ月
			毎月受診	毎月受診	月 日
(術後)					
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
排便					
視触診	腹部理学所見	一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9・p53				○
検査	胸部レントゲン検査				△
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				△
	腹部・骨盤部CT検査				△
投薬	大腸内視鏡検査				
	一般薬		△	△	△
自己 検診	腹部の チェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		この頃の1日排便回数			
		便通の異常はないか			



気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
1年10ヶ月	1年11ヶ月	2年
毎月受診	毎月受診	月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		△
		○
		△
		○
		○
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後連携手帳(2年1～6ヶ月)

○: 必須項目 △: 必要時に実施

			かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
			2年1ヶ月	2年2ヶ月	2年3ヶ月
			毎月受診	毎月受診	月 日
(術後)					
診察	問診	食欲			
		腹部症状			
排便		○	○	○	
視触診	腹部理学所見	一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9・p53				○
検査	胸部レントゲン検査				△
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				△
	腹部・骨盤部CT検査				△
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬				
自己 検診	腹部の チェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		1日排便回数			
		便通の異常はないか			



気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
2年4ヶ月	2年5ヶ月	2年6ヶ月
毎月受診	毎月受診	月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		△
		△
		△
		△
△	△	△

～メモ～

★大腸がん術後連携手帳(2年7ヶ月～3年)★

○:必須項目 △:必要時に実施



			かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
(術後)			2年7ヶ月	2年8ヶ月	2年9ヶ月
			毎月受診	毎月受診	月 日
診察	問診	食欲	○	○	○
		腹部症状			
排便					
視触診	腹部理学所見				
	一般的内科的診察				
	直腸指診(直腸癌)				
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9・p53				○
検査	胸部レントゲン検査				△
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				△
	腹部・骨盤部CT検査				△
投薬	一般薬		△	△	△
	補助化学療法薬				
自己 検診	腹部の チェック	体重			
		腹部の症状はないか			
		1日排便回数			
		便通の異常はないか			

気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
2年10ヶ月	2年11ヶ月	3年
毎月受診	毎月受診	月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		△
		○
		○
△	△	△

～メモ～



大腸がん術後連携手帳(3年1~6ヶ月)



○: 必須項目 △: 必要時に実施



			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			3年1ヶ月	3年2ヶ月	3年3ヶ月
(術後)					
診察	問診	食欲			
		腹部症状			
排便		○	○	○	
視触診	腹部理学所見				
	一般的内科的診察				
	直腸指診(直腸癌)				
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9・p53				○
検査	胸部レントゲン検査				
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				
	腹部・骨盤部CT検査				
投薬	大腸内視鏡検査				
	一般薬		△	△	△
自己検診	腹部のチェック	補助化学療法薬			
		体重			
		腹部の症状はないか			
		1日排便回数			
		便通の異常はないか			



気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
3年4ヶ月	3年5ヶ月	3年6ヶ月
		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		△
		△
		△
		△
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後連携手帳(3年7ヶ月~4年)

○: 必須項目 △: 必要時に実施

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			3年7ヶ月	3年8ヶ月	3年9ヶ月
(術後)					
診察	問診	食欲			
		腹部症状			
排便		○	○	○	
視触診	腹部理学所見	一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		△	△	○
	CEA・CA19-9・p53				○
検査	胸部レントゲン検査				
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				
	腹部・骨盤部CT検査				
投薬	大腸内視鏡検査				
	一般薬		△	△	△
自己検診	腹部のチェック	補助化学療法薬			
		体重			
		腹部の症状はないか			
		1日排便回数			
		便通の異常はないか			



気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
3年10ヶ月	3年11ヶ月	4年
		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		△
		○
		△
		○
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後連携手帳(4年1～6ヶ月)

○: 必須項目 △: 必要時に実施 □: ステージⅢ大腸がんの際には実施

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			4年1ヶ月	4年2ヶ月	4年3ヶ月
(術後)					
診察	問診	食欲			
		腹部症状			
排便		○	○	○	
視触診	腹部理学所見	一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		△	△	△
	CEA・CA19-9・p53				
検査	胸部レントゲン検査				
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				
	腹部・骨盤部CT検査				
投薬	大腸内視鏡検査				
	一般薬		△	△	△
自己検診	腹部のチェック	補助化学療法薬			
		体重			
		腹部の症状はないか			
		1日排便回数			
		便通の異常はないか			



気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
4年4ヶ月	4年5ヶ月	4年6ヶ月
		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		△
		△
		△
		△
△	△	△

～メモ～

大腸がん術後連携手帳(4年7ヶ月～5年)

○: 必須項目 △: 必要時に実施

			かかりつけ医	かかりつけ医	かかりつけ医
			4年7ヶ月	4年8ヶ月	4年9ヶ月
(術後)					
診察	問診	食欲			
		腹部症状			
排便		○	○	○	
視触診	腹部理学所見	一般的内科的診察			
		直腸指診(直腸癌)			
採血	血算・生化学		△	△	△
	CEA・CA19-9・p53				
検査	胸部レントゲン検査				
	胸部CT検査				
	腹部超音波検査				
	腹部・骨盤部CT検査				
投薬	大腸内視鏡検査				
	一般薬		△	△	△
自己検診	腹部のチェック	補助化学療法薬			
		体重			
		腹部の症状はないか			
		1日排便回数			
		便通の異常はないか			



気になる項目をチェックし、医師に相談しましょう



かかりつけ医	かかりつけ医	総合医療センター 又はかかりつけ医
4年10ヶ月	4年11ヶ月	5年
		月 日
○	○	○
		○
△	△	○
		○
		△
		○
		△
		○
		○
△	△	△

～メモ～

- ★定期受診は5年目まで
- ★定期受診日以外でも必要があれば受診

～メモ～

・
・
・
・
・



.....



総合医療センターの各部署・担当等のご案内

医療福祉相談

患者さんが病院に対する安心感と信頼感を持って療養に専念していただけるように医療福祉相談の窓口で相談をお受けしています。また、がん診療連携拠点病院として、がんに関する相談*もお受けしております。

窓口開設時間：月～土曜日 8:30～17:00

電話番号：医療福祉相談室 049-228-3825

がんに関する相談（がん相談支援センター）

 当センターに入院・通院されている患者さん・家族の方が安心して暖かな医療・看護が受けられるよう、医師または看護師などセンター内のスタッフとの連携はもとより、地域の医療・保健・福祉などの各機関と協働・連携をとりながら、より満足度の高い療養生活と充実した日々を送っていただけるように支援を行っています。

窓口開設時間：月～土曜日 8:30～17:00

電話番号：がん相談支援センター 049-228-3825

診療連携室

診療連携室では、地域医療機関との医療連携を進め、患者さんに安心して受診していただくため、地域医療機関の先生方と当センター医師とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割を果たしています。

電話番号：049-228-3750

ストーマ外来

ストーマ外来では、人工肛門をつけられた患者さまの皮膚のトラブルなどに対応いたします。消化管一般外科外来でストーマ外来の予約をお取り下さい。

 外科外来では、診察予約の変更を承ります。なお、検査予約の変更は消化管一般外科外来では受付できませんので直接来院のうえ、主治医にお申し出ください。

電話番号：049-228-3618（消化管・一般外科外来）

予約外受診

必要があれば、予約外診療も受け付けています。

受診の際は、消化管・一般外科外来受付までお問い合わせください。

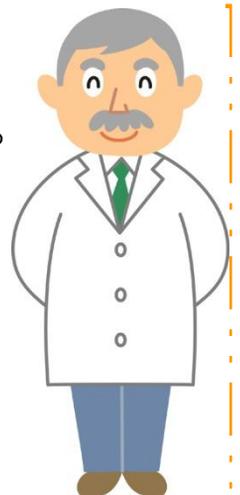
電話番号：049-228-3618（消化管・一般外科外来）



夜間・休日などの対応

緊急を要する場合で、休日や夜間等かかりつけ医を受診できないときは、総合医療センター救急外来までご連絡ください。

電話番号：049-228-3595（救急外来）





埼玉医科大学総合医療センター

TEL 049-228-3411(代表)

あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話 — —)

埼玉医科大学総合医療センター消化管・一般外科

電話 048-228-3619

平成23年7月